

5/10
五郎



キ ラ ス ト カ ー **HUNGER STRIKE** 復帰50年 辺野古新基地建設の断念を求めます

日本政府の姿勢変えたい

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設断念などを求めて9日、「辺野古」県民投票の会元代表で大学院生の元山仁士郎さん(30)が官邸前でハンガーストライキをスタートしました。元山さんは、「基地問題をはじめ、沖縄県民がいぐら民意を示しても改善されず、復帰50年を齎ぐるような状況ではない。日本政府の姿勢を変えたい」と話しました。

ハンストの実行にあたって出した声明では、沖縄が本土に復帰してももう50年となるが、これまた沖縄県民が何度も米軍

基地への圧迫を示しても、日本政府は尊重しているとは思えないと述べ、「5年前も現在も、基地問題は変わっていないといつても過言ではない」と指摘。

その上で、日本政府に対し、辺野古新基地建設の即時断念▽普天間飛行場の数年内の運用停止▽日米地位協定の見直しの3点を求めていました。

医師とも相談しながら、ハンストは「復帰50年」を迎える15日までを一つの目標にすると発表。開催場所も、自由党本部前など一日だけに変えてながら実施すると語りました。

元山さんは、声明と同じ要求内容の署名にも取り組むと述べ、「基地問題への関心を、少しでも多くの人に広げていきた」と話しました。

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設の断念などを求めてハンガーストライキをする元山仁士郎さん(30)、官邸前